



## システム イベント アーカイブ (SEA)

- 「システム イベント アーカイブの概要」 (P.51-1)
- 「SEA ログ システムを表示する方法」 (P.51-2)
- 「別のデバイスに SEA をコピーする方法」 (P.51-3)



(注)

- この章で使用しているコマンドの構文および使用方法の詳細については、次の資料を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps11846/prod\\_command\\_reference\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps11846/prod_command_reference_list.html)

- Cisco IOS Release 15.1SY は、イーサネット インターフェイスだけをサポートしています。Cisco IOS Release 15.1SY は、WAN 機能またはコマンドをサポートしていません。



ヒント

Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチの詳細 (設定例およびトラブルシューティング情報を含む) については、次のページに示されるドキュメントを参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps708/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps708/tsd_products_support_series_home.html)

技術マニュアルのアイデア フォーラムに参加する

## システム イベント アーカイブの概要

システム障害の原因を見つける際に、システム メッセージを確認することは有効な方法です。システム メッセージに障害の原因を判別するために必要な情報が見つからないときは、デバッグ トレースをイネーブルにして、障害を再現してみます。ただし、このような方法でも最適な解決策が見つからない場合もあります。

- 障害の原因を判別するとき、大量のシステム メッセージを確認していくのは、効率的な方法とはいえません。
- デフォルトでは通常、デバッグ トレースは設定されていません。
- デバッグ トレースを使用している間は、障害を再現することができません。
- 障害が発生したスイッチがクリティカル ネットワークの一部である場合、デバッグ トレースは使用できません。

SEA では、スイッチの各 CPU がアウトオブバンド インターフェイスを使用して管理プロセッサにイベントを報告するようにできます。各イベントは、タイムスタンプとともに非揮発メモリに記録されます。デバイス上のブートフラッシュにアクセスしてイベント ログを検索したり、取り外し可能なストレージ デバイスなど別の場所にログをコピーしたりできます。

SEA は、最大 32 MB を使用して 2 つのファイルをブートディスクに保存します。これらのファイルには、ログに記録された最新のメッセージが記述されます。

- `sea_log.dat` : 最新のシステム イベントがこのファイルに保存されます。
- `sea_console.dat` : 最新のコンソール メッセージがこのファイルに保存されます。

これらのファイルはシステムで使用されるものなので、削除をしないでください。

## SEA ログ システムを表示する方法

SEA のログ システムを表示するには、次の作業を行います。

コマンド	目的
Router# <code>show logging system [disk   size]</code>	SEA の内容を表示します。  (任意) キーワード <code>disk</code> を使用して、SEA が保存されている場所を表示します。SEA の現在のサイズを表示するには、キーワード <code>size</code> を使用します。
Router# <code>clear logging system</code>	SEA に保存されているイベント レコードを削除します。

次に、SEA を表示する例を示します。

```
Router# show logging system
SEQ: MM/DD/YY HH:MM:SS MOD/SUB: SEV, COMP, MESSAGE
=====
1: 01/24/07 15:38:40 6/-1 : MAJ, GOLD, syndiagSyncPinnacle failed in slot 6
2: 01/24/07 15:38:40 6/-1 : MAJ, GOLD, queryHyperionSynched[6]: Hyperion out of sync in sw_mode 1
3: 01/24/07 15:38:40 6/-1 : MAJ, GOLD, queryHyperionSynched[6]: Hyperion out of sync in sw_mode 1
4: 01/24/07 15:38:40 6/-1 : MAJ, GOLD, queryHyperionSynched[6]: Hyperion out of sync in sw_mode 1
5: 01/24/07 15:38:40 6/-1 : MAJ, GOLD, queryHyperionSynched[6]: Hyperion out of sync in sw_mode 1
6: 01/24/07 15:38:40 6/-1 : MAJ, GOLD, queryHyperionSynched[6]: Hyperion out of sync in sw_mode 1
7: 01/24/07 15:38:39 6/-1 : MAJ, GOLD, queryHyperionSynched[6]: Hyperion out of sync in sw_mode 1
```

次に、SEA ログ システム ディスクを表示する例を示します。

```
Router# show logging system disk
SEA log disk: bootdisk:
```

次に、SEA の現在のサイズを表示する例を示します。

```
Router# show logging system size
SEA log size: 33554432 bytes
```



